

自らをたよりにして、他人をたよりにせず、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ

あなたの「生きる」を支えるお寺

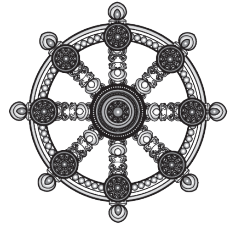
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.357



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

# 涅槃会 こんき常例布施

お勤め

『正信念仏偈 (十二礼の譜)』

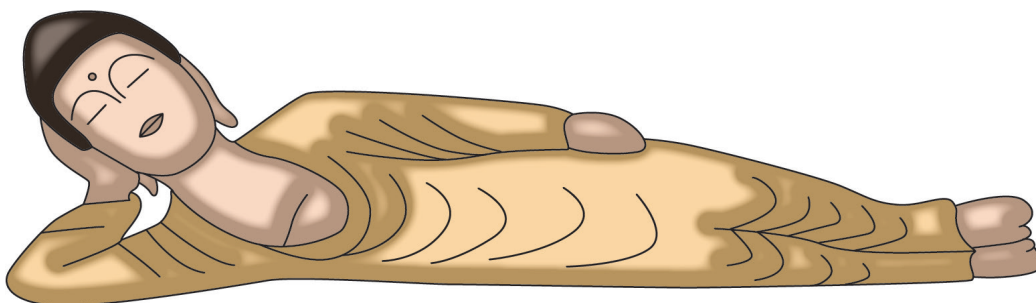
法話

純正寺住職

「お釈迦さまのご生涯を訪ねて」

(インド仏跡参拝旅行記)

二月二十五日(水)  
日中法座 午前十時より正午まで  
連夜法座 午後一時半より三時半まで



# 住職法話 我聞如星

われかくのごとくきく

わがこころのよくて

ころさぬにはあらず③

## インポートモデル

修復的司法による刑務所制度を採用したノルウェーには、現在重犯罪者が収容されるハイセキュリティ(重警備)刑務所から、基本的にも出入り自由な「開放型」と言われるローセキュリティ(軽警備)刑務所まで、全国に五十八ヶ所の刑務所があります。

その中、「世界一人道的で豪華な刑務所」と言われるのが「ハルデン刑務所」です。この刑務所は、ノルウェーで二番目の収容能力を誇る、殺人・強姦・児童性虐待などの重犯罪者を収容するハイセキュリティ刑務所です。

この刑務所には、二百五十

名余りの被収容者に対して二百四十名の刑務官・職員が勤務しています。一人の被収容者に対して、刑務官が一人担当できるこの体制は、何よりも被収容者の人権に高い配慮があるのです。そして、ここでの被収容者と刑務官、そしてチャプレン(教誨師)との人間関係の基本は、日常的で積極的な友好関係であり、その結果三者は相互信頼関係(ラポール)の上に成り立っています。これが、被収容者を再犯させない改善更生に強く影響しているのです。

また、この刑務所での被

収容者の生活の基本は「インポートモデル」と呼ばれています。インポートモデルとは、ノルウェーの全刑務所の基本理念で、刑務所では被収容者の自由は奪うけれど権利は奪わないというものです。つまり、刑務所内の環境を外の社会と同じようにすることで、改善更生を促し、健全に社会復帰させるといふ考え方なのです。

では、実際に刑務所内で被収容者が保障される権利とは何かというと、

①家(部屋)。全ての受刑者が、環境の整った個室を与えられる。

②金銭。刑務所内であらゆるものが購入できる。

③仕事。刑務作業ではなく、職業訓練を兼ねた就労ができる。

④教育。刑務所内外の学校で学習ができ、充実した図書館の利用もできる。

⑤健康。刑務所内の外科・内科・歯科・精神科等を自由受診できる。

⑥人間関係。刑務所内では刑務官・職員・チャプレンと自由交流ができる。

というものです。どれ一つをとっても、日本の刑務所では全く保障されていない権利なのです。



刑務官と被収容者が一緒にテレビ視聴

# ご本山御正忌報恩講参拝

毎年、1月9日午後から16日午前までの八日間営まれる、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日のご法事「御正忌報恩講」。今年は、久しぶりの通夜布教に、3名のご門徒と共に参拝させていただきました。親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただきました。

一月十五日(木)の午前  
十時より、純正寺本堂でも  
御正忌法要が勤まりました。  
十三名の参拝者と共に、声  
高らかに正信念仏偈和讃を  
お勤めし、住職の法話では  
親鸞聖人の九十年のご生涯  
を偲ばせていただき、報恩  
講の伝統料理「いとこ煮(遺  
徳煮)」のエピソードをお聞  
かせいただきました。  
法要の後は、いとこ煮と  
お講汁、そしてお赤飯の「お  
齋」を参拝者の皆さんと美  
味しくいただきました。親  
鸞聖人のご遺徳を偲ばせて  
いただきました。

解散後、三名のご門徒の  
男性(証護(清水)さん・見  
諦(馬場)さん・住法(清水)  
さん)は電車にて、住職は  
自家用車にて、それぞれ京  
都の本願寺に向かい、聞法  
会館で無事合流しました。



総会所のご本尊と最前列の純正寺三人衆

御正忌報恩講の期間中最  
後の夜。聖人ご往生の前日  
の夜です。古来より、この  
日は夜を通してご法話を聴  
聞し、聖人のご遺徳を偲ば  
せていただきます。  
午後七時から、聞法会間  
一階総会所で、正信偈和讃  
が参拝者全員でお勤めされ  
ます。お勤めが終わると、  
午後八時前から十六日午前  
五時半過ぎまで、十三名の  
布教使さんによる、一人  
四十分のご法話を聴聞させ

ていただきました。  
ご法話が終わると、午前  
六時から本堂でのお朝事。  
一年で、この日の朝だけ勤  
まる「真譜」でのお正信偈。  
まだ夜明け前の御影堂に、  
満堂のお勤めの声は幾重に  
も響き渡っていました。純  
正寺代表の三名のご門徒方  
は、午前十時からの「満日  
中法要」にも参拝されま  
した。尊い仏縁でした。



寒い夜明け前の御影堂に満堂のお念仏の熱気



# 2月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

7日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

1日(日)・23日(月・祝)

15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

## みんなの食堂ビハーラ

4日(水)・25日(水)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

8日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

3日(火)・24日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

## 「月例法話座談会」

27日(金)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## 釈尊ご入滅の日に「涅槃会」

25日(水)

10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

涅槃会は、お釈迦さまが80歳の人の命を終えて完全なるお悟りに至られた記念日。今月は、こんき常例布教と併修です。法話は、純正寺住職の「インド仏跡参拝旅行記」です。

## みんな法友こんき常例布教

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

## 住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません

生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、

090-7874-2849

相談予約専用メールアドレスは  
namo-yorozu@docomo.ne.jp

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。下記のQR(二次元)コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。



YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル

明けたと思ったら、もう一月が終わります。「一月は往ぬる」と言いますものね。今月は、一一、一五〇個のキャップをお預かりいたしました。